

立岩山～市間山、大規模ウインドファーム事業を笑う

「今年の夏も暑かったですね」と言いながら、夏の盛りと変わらぬ酷暑の9月12日、ウインドファーム事業が計画されているという日の平山、立岩山、市間山へ旧筒賀村の坂原集落から2名により往復で登山してきた。登山口直近に簡易水道の水源地があり上流で大規模な工事があれば坂原集落は飲料水を失う。少し上手には立派な栃の木が数本あった。つづら折れの尾根にかかると有名な榎の大木を中心に数本の立派な榎の木が残されていた、周囲は植林ではなく二次林として雑木林になっているのは急傾斜のため植林に適さないからであろう。尾根の上部に出ると傾斜は多少緩くなって植林帯になる、つまり急峻な谷の上部に多少緩い植林帯が乗っている非常に不安定な地形である。

境界尾根に出たからまず日の平山に行き、引き返して立岩山、市間山を目指す。道標も登山道もしっかりしていて多くの登山者に愛されているコースであるのがよくわかる。



栃の林



榎の巨木



道標もしっかりしています



立岩山は痩せた岩尾根



登山者の為に立派な表示が



尾根は意外と痩せています



素晴らしいブナ林を歩く



この木はかなり大きかった



市間山は二次林が中心

立岩山～市間山間は旧筒賀村の方が残してくれた自然林で素晴らしい縦走路。またこのルートは立岩山を中心にかなり急峻な岩尾根と痩せ尾根で成り立っており、ここにウインドファームを作るなら山の形が変わるほどの工事が必要と思われる、その結果山の崩落や土石流を引き起こすもと住民や水利権者からの訴訟の対象となるのは確実、採算の取れる事業とはならないだろう。

静かで自然一杯の素晴らしい山を愛し、地形を知りつくして登山を楽しむ我々にとって東京銀座辺のオフィスで考えられた机上計画は、笑うしかない内容だと思いますけどねえ。